ENUGEN

50460-XNRD-K0S0 CIVIC | PERFORMANCE DAMPER® |

取付*取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。 以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。 取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

△ご注意

- 1. 開梱後は、ただちに梱包内容(構成部品表を参照)の不足や破損の無いことを確認して下さい。
- 2. 取り付け前に、適合車種の確認を行って下さい。

[適合車種] CIVIC 5BA-FL1 (RSのみ)

- 3. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
- 4. 本製品の車両への取り付け、純正部品の取り外し・取り付けは、サービスマニュアルと本書に従って、 ホンダディーラーや自動車整備工場で行って下さい。
- 5. ボルト及びナットの締め付けには、寸法にあった工具を使用して確実に行って下さい。
- 6. ブラケット、パフォーマンス ダンパーの取り付けにインパクトレンチは使用しないで下さい。
- 7. パフォーマンス ダンパーの取り付け作業の際、ダンパーのロッド部を伸縮や回転させたり、ブーツ部を持ったり、ずらしたりしないで下さい。 また、ボルト位置が合わない場合には、無理に取り付けを行わないで下さい。
- 8.「PERFORMANCE DAMPER /パフォーマンス ダンパー」はヤマハ発動機株式会社の登録商標です。
- 9. 無限スポーツエキゾーストシステムを同時装着する際は、無限スポーツエキゾーストシステムの 取付・取扱説明書をご参照下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。 〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11 株式会社 M-TEC 商品事業部

【営業時間10:00~17:00 (土日・祝日・弊社指定定休日を除く)】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

取り付け作業者及び、使用されるお客様へのご注意

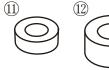
- 1. パフォーマンス ダンパーが事故や接触により破損・変形した場合は、直ちに交換するか取り外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
- 2. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

【構成部品表】

- No. PARTS NAME.
- ① パフォーマンス ダンパー (FRONT)
- ② パフォーマンス ダンパー (REAR)
- ③ フロントブラケット(L)
- ④ フロントブラケット(R)
- ⑤ リアブラケット(L)
- ⑥ リアブラケット(R)
- ⑦ フランジボルトa (M10×35mm)
- ⑧ フランジナット (M10)
- 9 ワッシャーボルト $(M14 \times 85 mm)$
- ① フランジボルトb (M8×35mm)
- ① カラーa (t 6. 0)
- ① カラーb (t 1 2. 0)
- ① ステッカー
- ④ 取付·取扱説明書

QTY. ① 1 YAMAHAステッカー $L = 6.8.7 \, \text{mm}$ 1 1 YAMAHAステッカー L = 720 mm1 4 1 4 4 2 4 (10)9 4 4 1 1

本書本文中の使用部品番号は構成部品表に準じます。





取説

(14)

【必要工具】

- ・ドライバー + ・ドライバー ・クリップリムーバー ・スパナ、メガネレンチ 14mm
- ・ボックスレンチ $10 \, \text{mm}$ 、 $12 \, \text{mm}$ 、 $14 \, \text{mm}$ 、 $17 \, \text{mm}$ ・トルクレンチ
- ・ラチェットレンチ ・イソプロピルアルコール ・ウエス

I. ステッカーの貼り付け

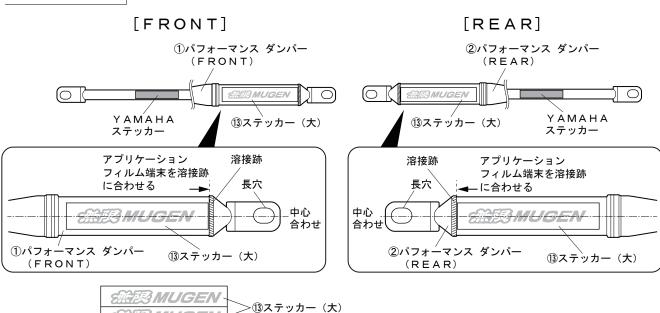
- 1. ①パフォーマンス ダンパー(FRONT)、②パフォーマンス ダンパー(REAR)の シリンダー部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。
- 2. ①パフォーマンス ダンパー (FRONT)、②パフォーマンス ダンパー (REAR) の シリンダー部に③ステッカー (大) を貼り付ける。

[使用部品]



MUGEN MUGEN

③ステッカー (小)

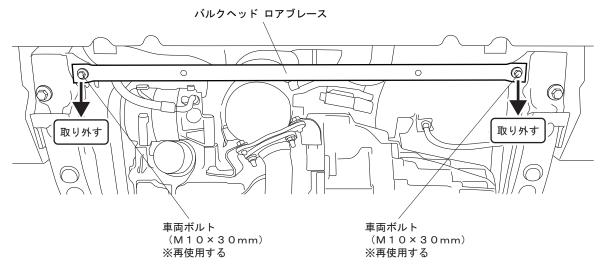


※⑬ステッカー(小)はご自由にご使用下さい。

Ⅱ. フロント側の取り付け準備

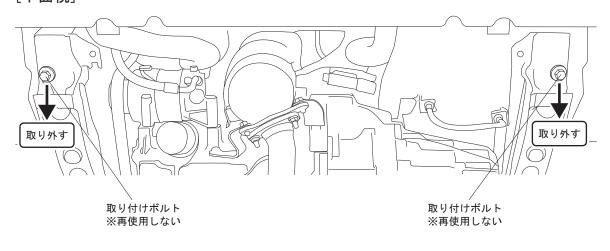
- 《注意》・ボルト・ナット類が錆び付いてゆるみにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式 の潤滑油等でゆるみやすくしてから作業を行うこと。
 - ・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・潤滑油を使用した場合は、作業後油分を完全に除去すること。
- 1. 車両をリフトアップまたはジャッキアップする。(サービスマニュアル参照) ※ジャッキアップの際は、リジットラックを使用し、車両が安全な状態であることを 確認すること。
- 2. エンジン アンダーカバー リッドを取り外す。 (サービスマニュアル参照)
- 3. エンジン アンダーカバー プレートを取り外す。 (サービスマニュアル参照)
- 4. バルクヘッド ロアブレースを取り外す。(サービスマニュアル参照) ※取り外した車両ボルトは再使用する為、紛失や破損に注意すること。

[下面視]



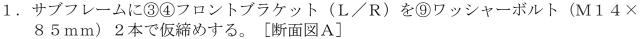
5. サブフレーム前方の取り付けボルトを2か所取り外す。 ※取り外した取り付けボルトは再使用しない。

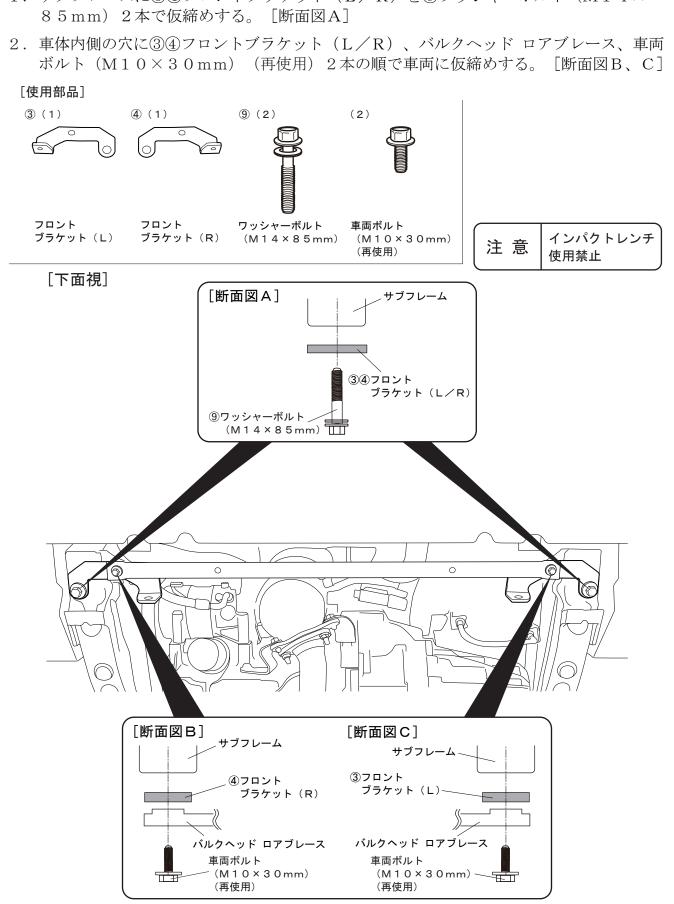
[下面視]



皿. フロント側の取り付け

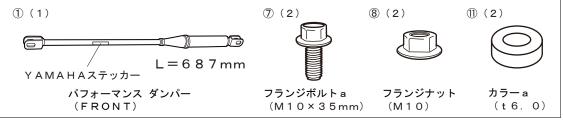
- 《注意》・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

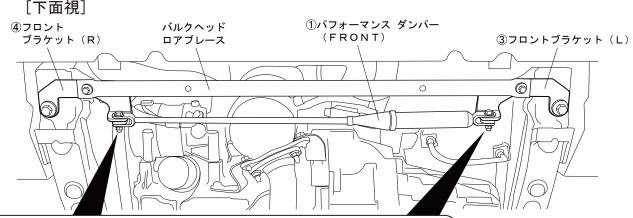


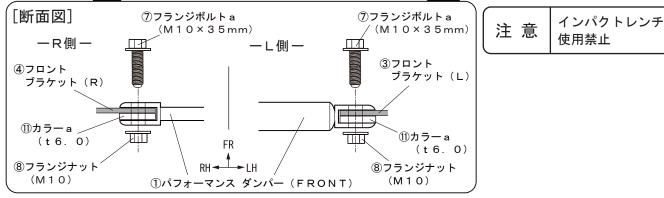


3. ①パフォーマンス ダンパー (FRONT) を⑦フランジボルトa (M10×35 mm) 2本と8フランジナット (M10) 2個で3④フロントブラケット (L/R) に仮締めする。 ※①カラーa (t 6. 0) を [断面図] の位置になるように入れること。

[使用部品]







- 4. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認する。
- 5. 車両を1 G接地状態(タイヤ4輪が接地した状態)にし、III-1 で仮締めした9 ワッシャーボルト($M14\times85$ mm)片側1 本、III-2 で仮締めした車両ボルト($M10\times30$ mm)(再使用)片側1 本、III-3 で仮締めした7 フランジボルトa($M10\times35$ mm)片側1 本と8 フランジナット(M10)片側1 個を下記指定トルクで本締めする。

⑦フランジボルトa($M10 \times 35 mm$)、®フランジナット(M10)締め付けトルク: $40N \cdot m$

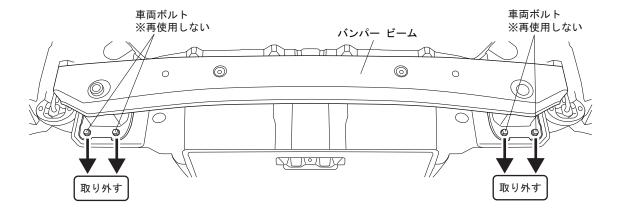
⑨ワッシャーボルト(M14×85mm) 締め付けトルク: 103N・m 車両ボルト(M 1 0 × 3 0 mm)(再使用) 締め付けトルク: 3 8 N・m

注 意 車両(4輪)が水平な場所で1G接地状態で締め付け作業を行うこと。

- 6. 取り付け状態が完全か確認する。
- 7. エンジン アンダーカバー プレートとエンジン アンダーカバー リッドを復元する。 (サービスマニュアル参照)

Ⅳ. リア側の取り付け準備

- 《注意》・ボルト・ナット類が錆び付いてゆるみにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式 の潤滑油等でゆるみやすくしてから作業を行うこと。
 - ・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・潤滑油を使用した場合は、作業後油分を完全に除去すること。
- 1. リア バンパーを取り外す。 (サービスマニュアル参照)
- 2. バンパー ビーム基部下側の車両ボルトを4か所取り外す。 ※取り外した車両ボルトは再使用しない。



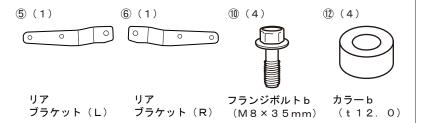
Ⅴ. リア側の取り付け

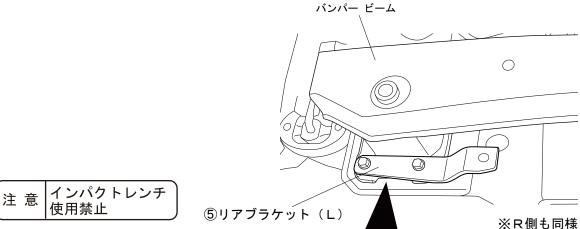
- 《注意》・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- を⑩フランジボルトb (M8×35mm) で片側2本仮締めする。 [断面図]

確認

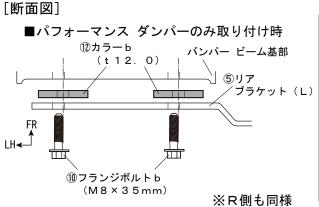
無限スポーツエキゾーストシステムを同時装着する際は、無限スポーツエキゾーストシステム の取付・取扱説明書をご参照下さい。

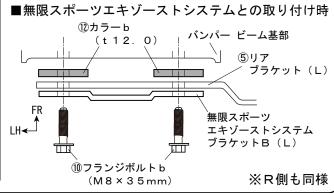
[使用部品]





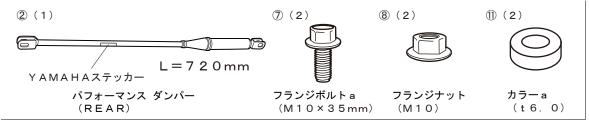
注 意

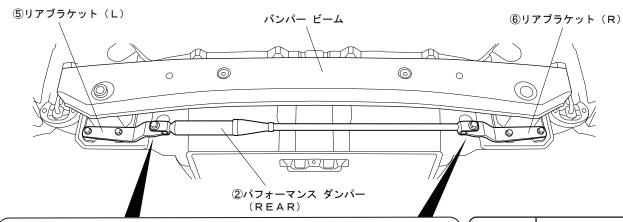


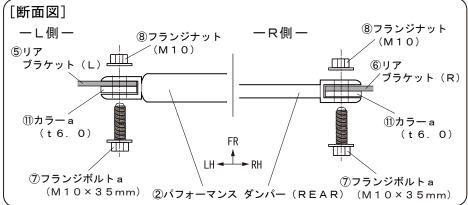


2. ②パフォーマンス ダンパー (REAR) を⑦フランジボルトa (M10×35mm) 2本と\$フランジナット (M10) 2個で5⑥リアブラケット (L/R) に仮締めする。 ※10カラーa (t 6. 0) を [断面図] の位置になるように入れること。

[使用部品]







注意 インパクトレンチ 使用禁止

- 3. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認する。
- 4. 車両を1 G接地状態(タイヤ4輪が接地した状態)にし、V-1 で仮締めしたmフランジボルトb($M8 \times 3.5$ mm)片側1 本、N-2 で仮締めしたnフランジボルトa($M1.0 \times 3.5$ mm)片側1 本とn0フランジナット(M1.0)片側1個を下記指定トルクで本締めする。

⑦フランジボルトa(M 1 0 × 3 5 mm)、⑧フランジナット(M 1 0) 締め付けトルク: 4 0 N・m

⑩フランジボルトb (M8×35mm) 締め付けトルク:22N・m

注 意 車両(4輪)が水平な場所で1G接地状態で締め付け作業を行うこと。

- 5. 各部の取り付け状態が完全か確認する。
- 6. リア バンパーを復元する。(サービスマニュアル参照)
- 7. 車両をリフトダウンまたはジャッキダウンする。